

副市長レビュー（秋）調書

1 部局名 (課名)	市民部 (創造都市・文化振興課)	
2 協議事項 (案件名)	2020 文化プログラム推進事業について	
3 背景・現状	<p>・国から 2020 年の東京オリンピック・パラリンピックに向けて、<u>日本固有の文化の魅力を世界に広く発信する文化プログラム</u>について国を挙げて取り組む方針が示されている。</p>	
4 検討経過・課題	<p>・2020 年の東京オリンピック・パラリンピックのタイミングを好機と捉え、本市の地域固有の文化を再評価し、創造的な発想で付加価値を創出する新たな取り組みが求められる。</p> <p>・本市の強み、特徴として、<u>音楽、サウンドデザイン、多文化共生、ブラジル人を中心とする在住外国人の集積</u>などが挙げられ、ユネスコ創造都市ネットワークや ICC への加盟、2020 年オリンピック・パラリンピックに係るブラジルチームの事前キャンプの誘致を活かし、以下 3 つのテーマを踏まえ戦略的事業を推進する必要がある。</p> <p>(1) 創造都市として 2020 年以降も継続的に地域固有の文化を世界に発信し、<u>誘客・交流人口を更に拡大</u>すること (文化観光産業の振興と地域の活性化)</p> <p>(2) 音楽の多様性や創造性を追及し、サウンドデザインなど<u>地域経済の活性化</u>に結びつけていくこと (創造産業の振興)</p> <p>(3) 外国人、障がい者や高齢者も含む<u>すべての人々が文化創造の担い手として輝く</u>、<u>音楽などを通じて響き合う新しい文化イベント</u>を創出すること (市民の誰もが創造性を発揮して輝く創造都市の実現)</p>	
5-1 方向性の提案	浜松ならではの音楽事業 beyond2020 プログラム認証事業 (2020 年以降の文化プログラム含む)	
5-2 論点 方向性の決定に向け議論する事項	ユネスコ創造都市ネットワーク加盟による 3 年 3 事業後の施策の方向性及び具体的な取組について	
6 結果	<input checked="" type="checkbox"/> 提案どおり進める <input type="checkbox"/> 提案内容を一部見直して進める <input type="checkbox"/> 再度、調査研究等を行い検討 <input type="checkbox"/> その他	具体的内容
7 その他		